

平成28年度実施 協働事業

協働事業審査会 公開プレゼンテーション

◆会場 ひらつか市民活動センター

◆開催日 平成27年10月3日（土）

目次

●公開プレゼンテーション スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・ P1

●市民提案型協働事業 事業提案書

①不登校・ひきこもり改善・自立支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P2

②平塚市立小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業・・・・・・・・ P6

③市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業・・・・・・・・ P10

平塚市

平成28年度実施協働事業 公開プレゼンテーションスケジュール

●開催日：平成27年10月3日（土）

●会場：ひらつか市民活動センター

時間	内容
13:30 (会議室)	開会 ・協働事業審査会委員長あいさつ ・協働事業審査会委員紹介 ・事務局説明（スケジュールと発表の方法など）
13:40	市民提案型協働事業プレゼンテーション ※提案団体プレゼン（5分）、質疑応答 （新規提案） ①不登校・ひきこもり改善・自立支援事業 （継続提案） ②平塚市立小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業 ③市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業
14:50	事務連絡
15:00	閉会予定

(宛先)

平塚市長 殿

団 体 名	特定非営利活動法人ぜんしん
代 表 者	柳川 涼司
事業担当課	健康・こども部 青少年課
提 案 型	<input type="checkbox"/> 行政提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 (<input checked="" type="checkbox"/> 自由部門 <input type="checkbox"/> テーマ設定部門)
新規・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 (平成 年度～)

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

①事業名	不登校・ひきこもり改善・自立支援事業	
②事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	ゲームやパソコン(ネット)依存の影響により不登校やひきこもりに陥り、悩んでいる子どもたちの存在が目立ち始めている。また、そうしたゲームやパソコン好きな子を持つ保護者は、我が子を自立させる為にどのように接するべきか悩んでいる。そこで、本事業では、ゲームで日本一の経験を有する元当事者や元当事者親子のサポーターと市の相談員がフリースペースを設け、挫折や回復の体験談や支援機関等の専門情報を提供することで依存状況にある彼らの自立を支援することを事業の目的とする。	
③協働の必要性・メリット なぜ、市と協働で実施したいのか、協働することの必要性を記入してください。 また、市民・団体・市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	既存の行政部門で悩みの解決策を見出せない当事者親子を自立(回復)へ導くには団体の培った不登校・ひきこもり支援のノウハウを活用することが望ましい。協働によりワンストップでの支援が実現できる。
	メリット	(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など) ・医療機関等と異なる元当事者ならではの視点による助言が得られる ・他機関にはない、ゲーム感覚による支援が受けられる ・連携している市民活動団体や支援機関の紹介を受けることが出来る
		(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) ・事業実施に要するフリースペースを確保できる ・「広報ひらつか」ほかにて支援活動の周知に協力いただける ・市が実施している相談業務のネットワークに参画できる
④事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校・高校中退・ひきこもりの経験者と市の相談員が手を組むことで、悩みを抱えている親子が安心して本事業の相談に参加できる ・子どもたちが受け入れやすい「ゲーム感覚の支援法」を活用する為、当事者は、楽しみながら自立(復学・進学・就労)を意識できる ・過去4年間、市の助成を受け、居場所事業等を展開し、培ったノウハウ(相談者が心を開いて話し易い空間づくり等)を本事業でも活用できる ・ゲーム等の依存以外に悩む親子の自立支援にも応じることが出来る ・事業を通して団体だけでなく、市の相談員の相談スキルの向上に繋がる ・当事者の親子同士が交流し、助け合える機会を提供できる 	

<p>⑤事業概要・計画</p> <p>スケジュール・人員配置など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>[概要]</p> <p>当事者親子が集い、相談・意見交換が出来るフリースペースを用意する。また、同所では、カードゲーム等の遊びやミニ・パソコン講座等を参加者が自由に選択できる環境を設け、自立に向かう為の支援を展開していく。</p> <p>[具体例] 親：市相談員が対応、子：ぜんしん担当者がゲームで心を開く ※相談や遊び・講座等は当日、参加者が自由に選択できるようにする</p> <p>[計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール：年4回（4月、5月、9月、1月の土曜日）に実施 ・時間：10時から17時　　・場所：青少年相談室（平塚市見附町15-1） ・人員配置：ぜんしん相談員（元当事者）3名、市相談員2名 ・対象者：主として20歳迄の青少年(必要に応じて20歳以上)とその保護者 ・予定参加人数：8名/回×4回 ・備品：ゲームやパソコン等は、ぜんしんが用意
<p>⑥役割分担</p> <p>団体、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校・ひきこもり等を経験者した相談担当者を提供 ・支援手法（ノウハウ）の提供 ・ゲームやパソコンほか支援機材の提供 <p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の確保 ・相談員の対応 ・広報協力（各種媒体の活用）
<p>⑦他団体との連携</p> <p>この事業に関し、他団体等と連携の実績や予定があれば記入。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者のニーズに合わせて、団体が連携している次の市民活動団体等と支援活動を展開することを計画している。また、ゲーム等の依存以外の問題がある場合は、以下の団体等を紹介することが可能である。 <p>(1) NPO 法人コス援護会　(2)居場所ほのぼの　(3)親の会すばる (4)家族の会かたつむり　(5)子育て応援ネット虹のつばさ　ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者の紹介や支援活動の周知協力には以下の機関を予定している。 <p>(1)神奈川県立青少年センター　(2)神奈川県平塚保健福祉事務所 (3)平塚市教育委員会　(4)平塚市子ども教育相談センター (5)平塚市児童相談所　(6)平塚市内各図書館　ほか市内外の団体・機関</p>
<p>⑧成果目標（目標値）</p> <p>できるだけ数値で具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の不登校児童・生徒数の状況（平成25年度） a)小学校83人　b)中学校233人　計：316人(学校教育部・教育指導課) ・市内のひきこもり者数（推計・平成27年4月）：4,590人 (人口：256,440人×1.79%※1) ※1：内閣府調査(2010年)掛け率で算出 <p>○成果目標値：参加者 8名×4回=32名 上記の該当者に参加いただくことで自立(回復)への意欲を高めていきたい</p>
<p>⑨関連法令等</p> <p>事業実施に関連した法令等があれば記入してください。</p>	<p>子ども・若者育成支援推進法</p>
<p>⑩事業実施以降の展望</p> <p>事業実施後の具体的な展望や、提案事業の成果をどのように活かしていくのか記入してください。</p>	<p>■ 次年度以降も双方で実施（■ 提案型協働事業　□ 提案型以外） □ 団体が単独で実施　□ 行政が単独で実施 □ 事業は今年度のみ予定　□ その他（　　）</p> <p>(実施後の具体的な事業展開や上記の補足事項)</p> <p>事業実施後は、事業に参加した人のニーズを踏まえて、会場に用意する遊具・機材だけでなく、人員やプログラムを再検討し、当事者が参加しやすい環境を整備しながら、協働事業を継続し、当事者親子の自立(回復)を支援していきたい。また、事業の実施回数を4回から増やすことを検討する。</p> <p>加えて、参加者が支援の継続を求める場合は、団体が実施している定例活動だけでなく、青少年相談室の相談事業へ誘う等して、当事者親子の自立(回復)に向けた意欲が減退しないようにサポートしていきたい。</p>

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) トクテイヒエイリカツドウハウジン ゼンシン		
	特定非営利活動法人 ぜんしん		
②所在地	〒254-0026 平塚市中堂2番22号		
③ホームページ	http://www.scn-net.ne.jp/~hira-sc/dantai/13_367.htm ※現在、自団体専用のホームページを製作中(平成27年度10月迄に公開予定)		
④連絡担当者 及び連絡先	担当者	柳川 涼司 (役職) 理事長	
	電話	(連絡可能な時間帯) 17時以降	
	FAX		e-mail
	住所	〒 平塚市	
⑤設立年月	平成23年10月 (法人格取得年月 平成24年9月)		
⑥会員の状況	個人会員	36人 (うち平塚市民 21人)	団体会員 団体
⑦活動内容 ・活動実績	<p>1)居場所の提供：不登校・ひきこもり当事者親子が集い、意見交換等を行う。 ・平成25年度 延参加者：107名 ・平成26年度 延参加者：115名</p> <p>2)就労支援相談会&プチ・パソコン講座の開催：ひきこもりやニート状態にあり、就労に悩む親子へ相談会や就職後に役立つパソコン講座等を開催。 ・平成25年度 延参加者：67名 ・平成26年度 延参加者：115名</p> <p>3)講演会の開催：臨床心理士ほか講師を招き、実践的な支援手法を学ぶ。 ・平成25年2月 参加人数：46名 ・平成26年2月 参加人数：46名</p> <p>4)訪問支援：当事者親子の各家庭他へ訪問し、個別相談やパソコン講座を実施。 ・平成25年度 27件 平成26年度 123件</p> <p>5)委託事業：地域若者サポートステーションほかのパソコン講座、講演依頼等</p>		
⑧協働事業との関わり	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな事業 <input type="checkbox"/> 今までの活動の拡大 <input type="checkbox"/> 今までの活動と同規模		
⑨活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	① 理事長	柳川 涼司	事業全体の総括(産業カウンセラー)
	② 副理事長	中野 貴文	フリースペースの総括、ピアサポーター
	③ 理事	手塚 明美	当事者・支援者の紹介、運営助言
	④ 理事	坂田 美保子	当事者・支援者の紹介、運営助言
	⑤ 理事	打田 芳恵	当事者・支援者の紹介、運営助言
	⑥	佐藤 貴子	当事者・支援者の紹介、広報協力
	⑦	竹内 亮	ピアサポーター、チラシ製作、受付
	⑧	小日山 達也	ピアサポーター(元当事者の大学生)
	⑨	木村 由紀	ピアサポーター(元当事者の親)、受付
⑩	柳川 範子	会計管理、収支決算報告の作成	

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	179,600円	市の支出	176,280円
		団体の支出(他の収入等)	3,320円

①収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 176,280	
団体の支出	3,320	団体の会計より支出
事業収入	0	参加費は徴収しない
収入合計	A 179,600	

②支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
謝金	108,000	108,000	総括責任者(産業カウンセラー/心理相談員)： 7.5H×4日×1人×1,000円 同責任者の講座プログラムや資料等の作成費： 5H×6日×1人×1,000円 元当事者スタッフ：6H×4日×2人×800円 同スタッフの事前打合せ、準備・片付けと振り返り： 1.5H×4日×2人×800円
事務用品費	20,640	20,640	フリースペースや講座に活用する写真・資料印刷向けプリンター用インク(4色)：4,820円×2組 サポーターや参加者が用いる文房具ほか (カラーボールペン5本、ノート3冊、名札3組、封筒、コピー用紙、クリアファイル等)：6,000円 軽微な遊具(カードゲーム2,160円×2組、ボードゲームほか)：5,000円
印刷製本費	14,000	14,000	告知パンフレット/A4カラー：3.5円×1,000枚×4回
旅費・交通費	15,720	15,720	元当事者スタッフ：(820+920+1,100円)×4回 雨天時パソコン等の機材運搬タクシー代4,360円
通信運搬費	17,920	17,920	行政機関や他団体等へ事業告知に用いる郵便費用 定形外郵便：140円×32組×4回
食糧費	3,320	0	参加者に提供するお茶菓子代：830円×4回 ※団体の会計より支出
支出合計	B 179,600	D 176,280	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注) 市の支出の他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

※審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

※この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

(宛先)

平塚市長様

団 体 名	東海大学地域スポーツクラブ
代 表 者	萩 裕美子
事業担当課	スポーツ課
提 案 型	<input type="checkbox"/> 行政提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 (<input type="checkbox"/> 自由部門 <input checked="" type="checkbox"/> テーマ設定部門)
新規・継続	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 26 年度～)

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

①事業名	平塚市立小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	
②事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのかなど。	<p>スポーツ課が平成 24 年に行った「平塚市民における体力・スポーツ関係事項調査」によると、運動やスポーツを始めるきっかけとなりそうなものは、自宅から近距離に運動できる場所や施設の整備が最も多かった。</p> <p>従って、地域住民の運動・スポーツへの参加意欲を高めるために、本事業を平成 26 年度から開始した。</p> <p>平成 26 年度は 29 回実施し、延べ 549 人の参加があった。これは当初の成果目標をはるかに上回っており、市民ニーズが高いといえるだろう。</p> <p>今後も、東海大学が持つスポーツ指導のノウハウや人材を活かすことにより、地域住民や学校にとって安心・安全で、魅力的な個人開放プログラムを提供する必要がある。</p>	
③協働の必要性・メリット なぜ、市と協働で実施したいのか、協働することの必要性を記入してください。 また、市民・団体・市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	<p>地域住民にとって身近な学校体育施設を個人開放することにより、地域住民のスポーツへの参加意欲が高まる。さらに、東海大学が持つスポーツ指導のノウハウや人材を活かすことにより、地域住民や学校にとって安心・安全で、魅力的な個人開放プログラムを提供できる。</p>
	メリット	<p>(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題など)</p> <p>団体に所属しない個人が学校開放に気軽に参加できる。また、競技者同士のコミュニティの場としての役割もあり、スポーツを通じた新たな交流の場として期待できる。</p>
		<p>(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など)</p> <p>学生が日々学んでいる成果を試すことのできる場として期待できる。さらに、大学の地域貢献としての意味もあり、東海大学のことを市民が理解し、身近に感じてもらうことができる。</p> <p>(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など)</p> <p>市民のスポーツ実施率の向上につながる。また、東海大学（主に体育学部）との提携事業により、市民により専門性の高いスポーツ機会を提供することができる。</p>
④事業のアピールポイント この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い思いなどアピールできることを記入してください。	<p>東海大学が持つスポーツ指導のノウハウや人材を活かすことにより、地域住民や学校にとって安心・安全で、魅力的な個人開放プログラムを提供できる。</p>	

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) トウカイダイガクチイキスポーツクラブ		
	東海大学地域スポーツクラブ		
②所在地	〒259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1		
③ホームページ			
④連絡担当者 及び連絡先	担当者	佐々木あすか (役職) 学生代表	
	電話	(連絡可能な時間帯) 12:30~13:00 または 20時以降	
	FAX		e-mail
	住所	〒 静岡県藤枝市	
⑤設立年月	2012年 6月 (法人格取得年月 年 月)		
⑥会員の状況	個人会員	40人 (うち平塚市民 30人)	団体会員 団体
⑦活動内容 ・活動実績	<p>東海大学の施設等を利用して、ウォークラリー、アウトドアクッキング、ツリーング(木登り)などの体験プログラム、ラグビー場や総合体育館を利用して自由に遊ぶプログラム、ログハウスでのクリスマスパーティーなどを企画し、子供たちを中心とした地域住民にプログラムを提供している。また、冬には新潟県のスキー場を活用して雪国キャンプを実施している。</p> <p>これらは大学生が企画・運営し、教員がそのサポート・相談役として関わっている。参加者は固定されたものではなく随時募集をしており、地域に根差した活動をしている。</p>		
⑧協働事業との関わり	<input type="checkbox"/> 新たな事業 <input type="checkbox"/> 今までの活動の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 今までの活動と同規模		
⑨活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	①代表	萩 裕美子	全体統括、市・他団体連携の調整
	②	伊藤 栄二	全体統括、市・他団体連携の調整
	③	知念 嘉史	学生指導、プログラムアドバイザー
	④	吉原 さちえ	学生指導、プログラムアドバイザー
	⑤学生代表	佐々木 あすか	プログラム企画・運営、事務作業
	⑥	上水流 景	プログラム企画・運営
	⑦	高崎 晋太郎	プログラム企画・運営
	⑧	福永 健人	プログラム企画・運営
	⑨	中根 京人	プログラム企画・運営
⑩	森 貴弘	プログラム企画・運営	

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	233,000 円	市の支出	200,000 円
		団体の支出(他の収入等)	33,000 円

①収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 200,000	個人開放謝金、その他事務費
団体の支出	33,000	交通費
事業収入	0	
収入合計	A 233,000	

②支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価のなど具体的な内容
謝金 (有償ボランティア)	158,400	158,400	月1回3会場、管理者への謝金 (800円×3h×2人×33回=158,400円)
交通費	33,000	0	管理者が会場に向かうための費用 (往復500円×2人×33回)
プログラム諸費	30,000	30,000	プログラム実施に必要な備品の購入費
保険料	9,760	9,760	施設所有(管理)者賠償責任保険
事務費	1,840	1,840	会議関連、コピー代、通信費
支出合計	B 233,000	D 200,000	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注) 市の支出の他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

※審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

※この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。

平成28年度「事業」提案書

平成27年8月18日

(宛先)

平塚市長

団 体 名 認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット

代 表 者 代表理事 小林信武

事業担当課 平塚市 社会教育部 スポーツ課

提 案 型 行政提案型 市民提案型

新規・継続 新規 継続 (平成26年度～)

協働事業について、以下のとおり事業提案します。

1 提案内容 (事業担当課との意見交換をもとに、具体的に詳しく記入してください。)

①事業名	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業
②事業の目的・必要性 なぜこの事業が必要か、どのような市民サービスの向上が図られるのか等。	<p>平塚市の近年の調査では、市民がスポーツを始めるきっかけとなるものは次の通りであった。</p> <p>1位) 身近に運動できる場所があること 3位) 仲間・家族からの誘いがある</p> <p>この2つで45%もの割合を占めることから、地域で活動する場所があることや、仲間がいることで市民がスポーツに親しむための大きな要素であることが分かった。</p> <p>また身近な地域で仲間や家族とともにスポーツ活動を望むことから、地域スポーツが重要であることが分かった。</p> <p>しかし現状はそれらの情報はほとんど無いか一元化されておらず、行政は市民からの問合せに対し上位である団体・協会等の連絡先を教えるに止まり、スポーツを希望する市民に対して十分なサービスができていない。</p> <p>このため、市民のスポーツ志向を行政として円滑に支援するには、これら地域で活動するスポーツ団体の情報を把握・整備し、その活動を広く市民に向けて発信するサービスの強化が望まれる。</p> <p>本事業により、スポーツを希望する市民が「いつでも、どこでも、手軽に」ホームページから市内のスポーツ団体に関する活動情報を得られることは、スポーツに取り組む市民が増えるとともに、地域におけるスポーツ活動がこれを機に、更に活発化する相乗効果が期待できる。</p> <p>特に若い世代(20歳代~40歳代)ではインターネットからの健康情報の取得率が高く、この年代のスポーツ参加率を上げるためにも、ホームページを活用した情報提供は有効と考えられる。</p> <p>折から、2020年の東京オリンピックの開催が決まり、市としてのスポーツ情報の発信によるスポーツ振興策に、本ポータルサイトは貢献することができる。</p>

<p>③協働の必要性・メリット</p> <p>なぜ、市と協働で実施したいのか、協働することの必要性を記入してください。</p> <p>また、市民・団体・市のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。</p>	<p>必要性</p> <p>行政の持つ組織力と信頼性を背景に、各種協会や市民活動団体からのスポーツ情報等の収集ができる。これらをポータルサイトの情報発信で、市民に広く紹介することができる。</p> <p>そして協働することで行政単独よりも、ICTの最新技術と運用経験を駆使して市民に親しみやすいポータルサイトを開発し運営することができる。</p>
	<p>メリット</p> <p>(市民のメリット：市民が受けられるサービスや解決される課題等)</p> <p>市全域で行われるスポーツ情報等を、市民はいつでも、どこでも、手軽に得ることができ、子ども（親を含む）や働く人、更にはシニア層がその地域で自分に合ったスポーツを生活環境に取り入れ易くなることが期待でき、市民の健康増進を進める大きなきっかけづくりになる。</p>
	<p>(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保等)</p> <p>行政が各種協会や市民活動団体に協力を呼びかけることにより、全市を挙げた体制ができると同時に、市民へ提供するスポーツ情報の信頼性が確保できる。</p> <p>更に行政の公的な広報媒体（市ホームページ等）を通じて、このポータルサイトを広く市民に周知することができる。</p>
	<p>(市のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用等)</p> <p>市民の目線、利用者の目線に立った情報体系や表現法を設計・開発に盛り込むことができる。</p> <p>当該団体の持つICTの活用実績と経験を活かし、かつ最新の情報技術を駆使して、市民に使い易いサイトを開発でき、かつその後の効率的なサイト運営も期待できる。</p>

<p>④事業のアピールポイント</p> <p>この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想い等アピールできることを記入してください。</p>	<p>(事業の先駆性)</p> <p>現在、市には 1,000 を超えるスポーツ団体が活動していると言われていたが、その活動状況はほとんど市民に広報されていない。</p> <p>今回の本ポータルサイト構築事業は、これらスポーツに関する未開拓の地域情報・団体情報を初めて行政として整備・構築する先駆的な活動であり、今後の市民のスポーツ参加と活動を活性化する基盤となるシステムである。</p> <p>(技術力)</p> <p>ポータルサイトの構築は、利用者目線からの「使い易さ」とともに「多様な情報提供・検索技術」を両立させる難しい設計要素がある。</p> <p>弊団体は平成 18 年以來藤沢市と協働事業で培った「えのしま藤沢ポータルサイト（通称「えのぼ」年間 31 万アクセス）」の開発と運営ノウハウがある。</p> <p>更には「藤沢市サッカー協会サイト（年間 14 万アクセス）」を構築・運営している実績と技術力がある。</p> <p>(先進性)</p> <p>近年のモバイル機器（スマホ、タブレット等）の急速な普及・利用に対し、PC だけではなく市民の多様な利用形態に柔軟に対応できる最新 ICT 技術の採用が今や必須である。</p> <p>「いつでも、どこでも、手軽に」のコンセプトを実現するために最新の「レスポンス・ウェブデザイン手法」を今回採用する。</p> <p>(課題対応力)</p> <p>弊団体は、社会で豊富な経験ある会員を 100 名以上擁し、諸課題への対応力と解決へ導く組織力がある。</p>
---	--

<p>⑤事業概要・計画</p> <p>スケジュール・人員配置等時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	<p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 年目におけるスポーツ活動団体の情報の整備（180 団体目標） 情報整備済のスポーツ 5 団体のメンテナンス促進と作業代行（記事の更新。原則 有償請負とする。） 新機能 開発（追加機能 6 項目） <p>【計画】（新機能を 2 回に分けて公開する）</p> <table border="0"> <tr> <td>4～ 6 月</td> <td>第 1 次</td> <td>新機能の整理と設計</td> <td>開発</td> </tr> <tr> <td>7～ 9 月</td> <td></td> <td>テストを協働で行う。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>第 1 次新機能の一般公開、運用開始</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10～12 月</td> <td>第 2 次</td> <td>新機能の整理と設計</td> <td>開発</td> </tr> <tr> <td>1～ 3 月</td> <td></td> <td>テストを協働で行う。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>第 2 次新機能の一般公開、運用開始</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>正式公開運用</td> <td>平成 29 年 4 月～</td> </tr> </table>	4～ 6 月	第 1 次	新機能の整理と設計	開発	7～ 9 月		テストを協働で行う。				第 1 次新機能の一般公開、運用開始		10～12 月	第 2 次	新機能の整理と設計	開発	1～ 3 月		テストを協働で行う。				第 2 次新機能の一般公開、運用開始				正式公開運用	平成 29 年 4 月～
4～ 6 月	第 1 次	新機能の整理と設計	開発																										
7～ 9 月		テストを協働で行う。																											
		第 1 次新機能の一般公開、運用開始																											
10～12 月	第 2 次	新機能の整理と設計	開発																										
1～ 3 月		テストを協働で行う。																											
		第 2 次新機能の一般公開、運用開始																											
		正式公開運用	平成 29 年 4 月～																										

<p>⑥役割分担</p> <p>団体、市の役割を具体的に記入してください。</p>	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトの第3年次の追加機能設計、開発、テスト ・27年4月からの運営（システム保守、問合せ・技術への対応） 経験、市民・団体からのアンケート等による意見の反映 ・ユーザである市民団体への支援（地域パートナーとの連携による） ・メンテナンス代行（記事の更新） <hr/> <p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・27年4月からの継続運営（市民からの問合せ対応サービス等） ・市民へのポータルサイトの広報 （市ホームページ、ちらし等の配布・公共機関での設置） 及び、操作マニュアルの印刷・関係団体への配布 ・市内の各協会や、スポーツ活動団体への情報提供依頼と協力体制の整備や調整 ・ポータルサイトの設計やテスト評価への支援 ・広告掲載依頼や、民間スポーツ施設との連絡調整 ・市のスポーツ情報の更新や、関係課等との連絡調整 ・打合せに必要な会議室等の提供
<p>⑦他団体との連携</p> <p>この事業に関し、他団体等と連携の実績や予定があれば記入。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本ポータルサイトは、各協会やスポーツ活動団体からの年間継続した各種情報提供が、非常に重要な要素である。 ・地域情報に明るい、平塚市の「まちづくり」「市民大学」等で活躍するNPO団体である「湘南NPOサポートセンター」が地域パートナー団体である。 スポーツ活動団体へのPC操作指導等を予定。場合によっては取材や記事作成も協力をいただくことも検討する。
<p>⑧成果目標 (目標値)</p> <p>できるだけ数値で具体的に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.市民がスマホ等からのポータルサイトの利用により、「いつでも、どこでも、手軽に」市内スポーツ情報を得ることができ、スポーツへの興味・関心が高まる。 2.H27年4月からの運用のサポート経験を活かしたH28年度の改善・機能強化を行うことにより、市民および団体の利用頻度が増す。 例えば、民間のスポーツ施設の検索等が新しく装備される。 開催イベントの検索機能の新装備等で、「いつ・どこで・何を」が分かるようになる。 3基幹となるスポーツ5団体を含めた約300のスポーツ団体の活動の検索（平成28年度から）を市民が自由に行えるようになり、スポーツ活動への関心と参加度が高まる。 <p>成果目標値：(平成29年4月より公開予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに180のスポーツ活動団体の情報の整備ができる。 ・操作性を含む5項目の機能拡充 民間スポーツ施設情報の追加、開催イベントの簡易な検索、ウォーキングコースなど40ヶ所の掲載、等

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ニンテイエヌピーオーホウジン ショウナンフジサワシニアネット		
	認定 NPO 法人 湘南ふじさわシニアネット		
②所在地	〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢496 藤沢森井ビル 604号		
③ホームページ	http://www.sfs-net.com/		
④連絡担当者 及び連絡先	担当者	大屋憲彦 (役職) なし	
	電話	(連絡可能な時間帯) 10時～18時	
	FAX		e-mail
	住所	〒 藤沢市	
⑤設立年月	平成15年 6月 (法人格取得年月 平成16年 7月)		
⑥会員の状況	個人会員	100人 (うち平塚市民 1人)	団体会員 0団体
⑦活動内容 ・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・IT教育：地域の商店街へのパソコン講習、セキュリティ講座等 多数実施。 ・HP制作：実績35団体HPの制作・運用(藤沢市サッカー協会 ほか) ・経営相談・経理業務受託：10団体の経理支援、経営相談実施。 ・協働事業—藤沢市) えのしま・ふじさわポータルサイト運営事業、健康メッセ開催事業、パソコン出前病院等 —茅ヶ崎市) 地域コミュニティ醸成事業、生涯学習ガイドブック検索 等 —慶大) ふれあい健康教室、&湘南読売) との IPAD・iPhone 講座 <p>★平成24年(2012年)10月 神奈川県指定 NPO 法人 認定。</p> <p>★平成25年(2013年)6月 認定 NPO 団体として認可される。</p>		
⑧協働事業との関わり	<input type="checkbox"/> 新たな事業 <input type="checkbox"/> 今までの活動の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 今までの活動と同規模		
⑨活動体制 活動に携わるメンバーを記入してください。 10名以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	①	大屋憲彦	リーダー。
	②	市川幸利	サブリーダー。地域協働推進。
	③	桃崎由利子	開発・テスト。全体技術担当。
	④	谷口良作	開発・テスト。
	⑤	小川厚子	開発・テスト
	⑥	岩本 勲	開発・テスト、地域協働推進。
	⑦	栗原宏一	エキスパート (えのぼ開発責任者)
	⑧	竹内克彦	エキスパート (えのぼ開発責任者)
	⑧		
⑨			
⑩			

3 収支予算書（この協働事業だけの金額を記入してください）

総事業費	1,434,028 円	市の支出	1,314,028 円
		団体の支出(他の収入等)	120,000 円

① 収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
市の支出	C 1,314,028	
団体の支出	0	
事業収入	120,000	バナー広告 10,000 円 x 10、記事制作代行 500 円 x 40P 分
収入合計	A 1,434,028	

② 支出

項目	予算額	うち市の支出分	積算単価の等具体的な内容
1. 機能拡充			【*開発=設計・制作・試験の合計時間】
1) 市民団体情報の拡充 ・180 件	235,008	291,392	開発 272h x @800 x 税
2) スポーツ施設情報拡充 ・民間施設 10	6,912		開発 8h x @800 x 税
3) ウォーキング等コース 電子化掲載 40 件	31,968		開発 37h x @800 x 税
4) 団体一覧検索	27,648		開発 8h+メンテ 24h=32h x @800 x 税
5) イベント検索	82,080		開発 95h x @800 x 税
6) 指導者登録	7,776		開発 7h+メンテ 2h=9h x @800 x 税
2. サイト維持、サポート			
1) サイト保守	82,944	同左	保守 8h/月 x 12 月=96h x @800 x 税
2) 不具合改修	34,560	同左	不具合 10 件 x 4h/件=40h x @800 x 税
3) ユーザサポート	82,944	同左	説明会等 2h x 2 回 x 6 名=24h x @800 x 税
記事代行掲載	20,000	0	3 件/月 x 12 月 x 2 名=72h x @800 x 税
4) 広報活動強化	54,000	同左	記事制作代行(@500 x 40P) (税込) 広報ちらし制作・印刷=50,000 x 税
3. サイト基本部改善			
1) テンプレート	159,840	同左	開発 60h x @800 x 税+デザイン 100,000 x 税
2) スポーツ情報掲載等 機能改善 (5 件)	21,600		開発 25h x @800 x 税
7. 事務用品	20,000	同左	用紙：A4 版 10 冊 x 500 円 インク：12 本 x 1000 円 ほか 消費税込み

8. 定例打合せ 1) 平塚市との定例会	129,600	同左	2H/回 x15 回/年 x5 人 x@800 円 x 税
2) パート団体との打合せ	10,368 9,720		2H/回 x3 回/年 x 2 人 x@800 円 x 税 2H/回 x3 回/年 x 3 人 x@500 円 x 税
9. 旅費・交通費 1) 平塚市との定例会	204,000	同左	* 定例会 年 15 回 (平塚・辻堂・大庭・東京=1,700 円 x2) x4 人/回 x15 回【メンバー4 人の移動反映】
2) パート団体との打合せ	2,880 3,780		* 定例会 年 3 回 (JR 藤沢-平塚=240 円 x2) x 2 人/回 x3 回 (平塚バス 210 円 x2) x 3 人/回 x3 回
3) 市民記者補助	12,000		* 市民記者補助 12 回/年 x 往復 1,000
10. 賃貸	34,560	同左	* 外部レンタルサーバ利用 ・ サーバー 2,500 円 x12 月 (+1 サーバ借増) ・ ドメイン名 2,000 円/年 ・ 以上 x 税
11. ソフト費	43,200	同左	* サイト装着ソフトの購入:4 本 x10,000 円 ・ タグ管理、マップ応用、画像管理ほか ・ x 税
12. 管理費	51,840 64,800	同左	・ エキスパートの支援 48H x@1000 円 x 税 ・ プロジェクト管理 60Hx@1000 円 x 税
支出合計	B 1,434,028	D 1,314,028	

注) 収入合計 A と支出合計 B、及び、市の支出 C と支出合計 D は同額となります。

注) 市の支出の他に、県やその他の助成金がある場合は、収入・支出に明記してください。

※審査会時の選定では、提案された市の支出額を保証するものではありません。市の査定により減額されることがあります。また、事業の実施は3月議会での承認により決定されます。

※この事業提案書は、個人情報の一部を除き、ホームページ等で公表します。